

科目ナンバー	GEO-3-003-k			科目名	世界の地誌I		
教員名	中牧 崇			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	授業では、地表面で展開する多様な現象の関連性を特定の地域において総合的に考察する地誌学(地理学の一分野)を、日本各地の事例(関東・甲信越地方[茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県・長野県])から取り上げる。なお、後述の「内容・スケジュール」のうち、関東地方は東京(江戸)を中心とした内容になっているが、東京(江戸)と群馬(上野国)との比較、東京と群馬との関係といったように、群馬の事例も可能な限り取り上げていきたい。地誌学を学ぶことにより、地域で生起している諸問題について、地図を活用しながら総合的に分析・考察を行う能力を身につけられることを目指す。さらに、地域間の比較を通して現代世界への理解を深められることを目指す。 (注)後述の「授業スケジュール」は、履修者の人数などにより、変更することがある。						
到達目標	授業では、地理的見方・考え方を身につけながら、知識の量を増やしてほしい。そして、授業で学んだことを踏まえながら、積極的にフィールドに出て、地域を観察する姿勢をもってほしい(インターネットを含む既存の資料では分からない現代世界の実態を知ることができる)。それらは、論理的思考力・社会的分析能力の重要な基礎となるはずである。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	配付プリントと地図帳を使用しながら、講義形式で行う。必要に応じて、地域の写真なども提示する。ノートはしっかりとること。欠席した回の内容は、わからないままにしておかないこと。また、必要に応じて、授業の時間を利用して、小課題に取り組む。						
アクティブラーニング		レポートの作成と小課題の実施による振り返り	サービスラーニング		課題解決型学修		
受講条件 前提科目	高等学校での地理の履修・未履修に関係なく、明確な目的意識をもち、かつ学習意欲のある学生の参加を歓迎する。						
アセスメントポリシー及び評価方法	前期末の定期試験65点、受講意欲・態度(70%以上の受講、小課題を含む)25点、レポート(1回実施)10点とする。なお、前述の「概要」の「地誌学を学ぶことにより……」の内容および「到達目標」の内容に少しでも近づこうとする努力が認められる学生は評価する。						
教材	青木英一・北村嘉行著『世界を読む 改訂版』、原書房(ISBN9784562090976、2005年、2,800円+税)をベースとした配布プリントを使用するが、新たに購入する必要はない(なお、『世界を読む』をベースとした配布プリントの使用は、後期の「世界の地誌II(地誌概説II)」の授業でも行う)。地図帳は新たに購入したものでも、高等学校で使用したものでもよいので、持参すること(推奨:二宮書店の場合『基本地図帳』、帝国書院の場合『新詳高等地図』を用意するとよい)。						
参考図書	必要に応じて、授業中に紹介する。						

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	ガイダンスでは、受講上の注意点について説明する。		
授業外学修内容	配布プリントをよく読んでおくこと。	時間数	0.5
2週目			
授業学修内容	地理的見方・考え方のポイントとともに、地理学における地誌学の位置づけについて学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
3週目			
授業学修内容	レポートを作成するにあたっての注意点について説明する。		
授業外学修内	レポートでは、配布プリントと地図帳の使用とともに、自ら調べてみることに		

容	重要である。	時間数	9.5
4週目			
授業学修内容	「東京」のさまざまなイメージ・範囲について学習する(東京都にも都市と村落が存在することを認識する)。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。とくに、群馬でみられる「東京」の(心理的)範囲の拡大について、各自で調べてみるとよい。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	東京が大都市として歩みはじめた経緯について、近世の江戸のまちづくりにさかのぼって学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	近世の江戸における地域構造の特色について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	明治期の東京における地域構造の特色について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	大正期～昭和中期(高度経済成長期以前)の東京における地域構造の特色について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	高度経済成長期以後、東京50km圏まで市街地が拡大した背景について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	東京100km圏(首都圏)の連携のなかで、北関東を中心とした産業の役割について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	冬の日本海側と太平洋側の気候のちがいについて、新潟県と群馬県を比較しながら学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	新潟県における積雪の状況とそれを活用した産業の特色について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	長野県・山梨県における交通体系の現状と課題について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	長野県・山梨県における産業の役割について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	長野県・山梨県における地域振興の展開について学習する。		
授業外学修内容	授業で学習した内容をよく復習しておくこと。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		23	

その他に必要な自習時間				67	
Number	GEO-3-003-k	Subject	World Topography I		
Name	中牧 崇(Nakamaki Takashi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	In the course “World Topography I”, I take up topography (a sub-field of geography)and consider a variety of phenomena unfolding on the earth’s surface generally, and in specific areas. In addition, through this course, participants learn topography through examples in the Kanto-Koshinetsu Region (Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Yamanashi, Niigata and Nagano).				
	By learning topography, participants aim to acquire the ability to analyze different areas’ various problems, by analyzing and considering problems comprehensively while utilizing maps. Furthermore, participants also aim to deepen their understanding of the world through comparing different areas.				